

市之川公民館だより 令和6年12月号 (No.612号)

〒793-0037 西条市市之川6678-1 市之川地区人口「10月末現在」

Tel・Fax (0897) 56-3300 人口 8人(男3人・女5人)

eメール ichinokawa-k@saijo-city.jp 世帯数 6世帯

※ 西条市市之川公民館だよりで検索するとカラー版がご覧になれます。

12月 師走(しわす)

12月に入り、寒い日が続くようになりましたね。

皆さんいかがお過ごしでしょうか。

例年より暖かいとは言え、これからは日がたつにつれ寒さが増してきます。風邪などひかれぬよう十分にお気をつけて、お元気でお過ごしください。

近所の人から頂いた、アケビ。5年目にして実が4個つきました。かつては市之川地区にもたくさんあったと聞いています。



《12月の行事予定》

日	曜	行事・時刻・場所
14	土	からおけ会 10:00～ 集会室
28	土	からおけ会 10:00～ 集会室

マリーゴールド
11月9日撮影。11月中旬を過ぎても満開です。チューリップの球根を植えるため撤去しました。



11月22日撮影。
公民館の「イチョウ」やっとな色づき始めました。



※ 大町公民館にて【市之川公民館・西条高校商業科輝安KOU房】

11月1日(金)～28日(木) 大町公民館にて、市之川公民館による鉱物展や西条高校生による輝安KOU房の活動状況が展示されました。



市之川公民館 鉱物展



西条高校商業科輝安KOU房



※ 第3回教頭研修会(現地研修会)

11月8日(金)市之川公民館にて第3回の教頭研修会が開催されました。市之川での研修は今回で2回目です。参加者は35名。公民館長による講演の後、鉱山資料室の見学や、石割体験、千荷坑周辺の見学を行いました。14時～16時の予定でしたが、定時より早く開催し、終了予定時間もオーバーするなど熱心に研修されました。



久しぶりに賑やかなグラウンドです。



教育長あいさつ



閉会のあいさつ

※ 高知大学から来館

11月10日(日) 高知大学から3年生向けの野外巡検のため12名の来館がありました。



※ 西条高校文化祭にて

11月13日(水) 11時30分。西条高校の文化祭を見学に行きました。企画内容は「科学部が開発した人工輝安鉱を使って世界に一つだけのオリジナルボールペンを作ろう!ぜひ来てね!」です。14時から市之川公民館の水源地清掃もあり、2時間程度学校に滞在したのですが、ボールペン作りに生徒をはじめ保護者の方が訪れ、大盛況でした。



ボールペン作り



タオルや輝安鉱の販売やガチャ。生徒の皆さん、大阪での、石ふしぎ大発見展を経験しているだけあって、手慣れたものです。

※学校内での写真撮影、公民館だよりへの掲載については担当の先生や保護者の方々に了解を得ています。

※ 令和7年西条市二十歳の集い（旧成人式）について（お知らせ）

令和7年西条市二十歳の集いが下記のとおり開催されます。地域別の2会場開催となりますのでご注意ください。

- | | |
|--------------|---|
| 1 日 時 | 令和7年1月12日（日）
＜ 受付 ＞ 13時00分～
＜ 式典 ＞ 13時30分～ |
| 2 場 所 | 総合文化会館（西条市神拝甲79番地4）
※東予・丹原・小松地域の方は丹原文化会館
（式典：10時30分～）での開催となっております。 |
| 3 対象者 | 平成16年4月2日～平成17年4月1日生まれの方
※市内に住民票がある方には12月上旬に案内状を送付します。
※進学・就職等で市内に住民票がない方も西条市の成人式に出席できますので、希望される方は下記までご連絡下さい。 |
| 3 問合せ
連絡先 | 西条市教育委員会 社会教育課 社会教育係
電話0897-52-1254（係直通） |

新たな補助制度が始まります

家具や窓ガラス

地震対策

できていますか？



市内に住所を有する全世帯を対象に地震対策として
固定器具などの購入費用の一部を補助します。

▶補助対象

- 家具などの固定器具（L型金具、ベルト式、マット式、ポール式など）
- ガラスなどの飛散を防止するもの（ガラス飛散防止フィルム）

※11月1日以降に市内のホームセンターなどで購入したものに限り。設置費は対象外

▶補助金額

購入費用の4分の3以内（最大1万5,000円）

▶補助回数

1世帯1回のみ

▶申請方法

市庁舎危機管理課・西部支所総務管理課・各サービスセンターの窓口で申請（郵送可）

※詳細はホームページなどをご覧ください

▶申請期間

11月1日（金）～令和7年3月31日（月）

※予算額に達した場合は補助終了

▶問合せ

市庁舎新館5階危機管理課

TEL0897-52-1283

詳細は▶



※ 公民館周辺の掃除

11月下旬～12月上旬にかけ公民館周辺の除草作業
やグラウンド整備を行いました。



事務所西側



トイレ東側

※ 水源地の清掃

11月13日（水）社会教育課の職員2名に来て頂き、
清掃を行いました。次回は2月下旬の予定です。



2024年11月10日

～毎月10日は人権を考える日～

市内高校生の座談会から学んだこと

9月30日、西条市内5高校の代表生徒10名に市役所に集まっていただき、人権問題に関する座談会を行った。17時から90分間という時間ではあったが、令和6年度当初に行った市民意識調査の結果について思うことを語っていただいた。

高校生が、自分たちで選んだ話し合いの内容は、5つの質問に対する調査結果についてだったが、以下それぞれの質問ごとに生徒が発言した内容の一部を紹介したい。

① 年齢、関心のある人権問題を選択するものについて

60代70代の方々の回収率がよいことをどう考えればいいのか。30代40代の方々は忙しいことはわかるが、人権問題のアンケートは大切だという意識が低いのではないか。

女性の人権問題と子どもの人権問題が上位にあるのはどうしてだろう。課題があるということだろうか。それだったら残念なことだ。当然理解されていると思っていた。

② 家族、友人、知人から性的少数者（LGBT）だと打ち明けられたらどうしますか

否定的な意見（「距離をおきたいと思う」）が2%あるのが残念。しかし、その2%の中には、嫌悪感からのみで離れたわけではない人もいるのではないかな。

③ 部落問題（同和問題）は今も残っていると思うか

私は実際に見たことはないのだけれど、残っていると回答した人は半数いる。差別している人の気持ちを知りたい。無意識のうちに差別しているとしたら、正すべきだ。

④ 被差別部落出身の人たちに対する差別的な言動や落書き、インターネット上の差別書き込みや動画などを見聞きしたことがありますか

自分は見聞きしたことがない。テレビなどでLGBTQは取り上げられているが、部落問題は取り上げられていない。昔はタブー視されていたと聞いた。差別事象があってもそれが部落差別だと気づいていないことがあるのではないかな。

⑤ 部落問題を見聞きした時どうしたか（どうすれば良いと思ったか）

授業で『破戒』（2022年制作）を観た。身近な人が理解してくれたところがよかった。理解者が必要だ。分からないことはまず調べることが大事。身近な人に相談することも大事。勉強する機会を持たないといけない。テレビでしているような短編アニメーションや紙芝居での啓発、人形劇で啓発するなど、方法を工夫することが大事。私たちが地域の集会所で行われている学習会に参加できるように、意欲を湧かせる工夫をしてほしい。

始めは自己紹介も遠慮がちにしていた高校生だったが、その場になじんでくると、どんどん発言が活発化していった。90分という限られた時間があっという間に過ぎた。高校生の忌憚（きたん）のない考えを聞いて、大人である私たちとしても、大きな力をいただいた。この若い力をもっと生かす方法を見い出していくのが私たちの役割だと考える。差別を許さないと考える高校生は、確実に育っていると心強く感じた。教育は、差別を許さない生徒を確実に育ててくれている。私たち大人も生徒たちに負けないように、学習を積み重ねていきたい。

西条市人権教育協議会

西条市人権擁護課